

Hayashi meets Samba 2023

はやし・ミーツ・サンバ 2023

川越出身のドラマー吉田和雄が主宰、毎年恒例となったブラジルと日本の交流行事、今年も川越駅東口アトレ7階のスペース・セブンで開催します。絢爛豪華な舞と囃子、サンバの熱いリズムとのコラボで会場が一体となって楽しめる、そんなイベントを川越の中心地で味わえます。3週間後の「川越まつり」に先がけてブラジルと日本のまつり文化をお楽しみください。

9月24日 **Sun** 開場 4:00 pm / 開演 4:30 pm

会場：川越駅東口アトレマルヒロ7F **スペース・セブン**

チケット：¥3500 文具のキムラヤ、田中家具等にて販売中!



お問合せ、ご予約は右記 QR コードからお願い致します。

予定曲目：仁羽、屋台、黒いオルフェ、イパネマの娘、マシュ・ケ・ナダ他

～ 出演 ～

竹生会・囃子、舞

ニーナ・ヴォーカル



フランシス・シルヴァ

ヴォーカル、パーカッション



吉田和雄

ドラム、リーダー

長澤紀仁・ギター 山田園恵・スティールパン

出演者プロフィール

竹生会 (Chikubukai) 囃子、舞

昭和43年に結成、50余年の歴史を持つ囃子連。川越では唯一、神田囃子大橋流を継承する。秋の大祭「川越まつり」では、西小仙波町が所有する「素戔鳴尊（すさのおのみこと）の山車」で演技。現在、会員約30名の非営利団体。

吉田和雄 (Kazuo Yoshida) ドラム、プロデューサー

川越に育ち、「囃子」を習い、川越高校時代にボサノバの源、サンバとの共通点を見出す。東京理科大学時代にドラムを始めブラジルのリズムを会得、自己のバンド「スピーク&スパン」で11枚のアルバムを発表、高評価を得る。名手、パット・メセニー、渡辺貞夫氏とも共演。プロデューサーとしては小野リサを世に送り出し、南佳孝、ジョイスなど内外のアーティストからも絶大な信頼を得て計200枚以上の作品を制作。還暦を前に囃子とサンバのコラボを開始、2014年には竹生会の有志とブラジルツアーを成功させた。渡伯経験72回、日本とブラジルの架け橋的存在。2018年には「ブルーノート・リオ」で日本人初のリーダー・ライブを敢行、大成功を収める。スティールパン、ギター、ドラムのユニークな3人組、**バンドラム**を主宰。コミュニティFM90局をネットする自身の番組「ボッサマニア」を土曜日、夜7時からを放送中。

フランシス・シルヴァ (Francis Silva) ヴォーカル、パーカッション

サンパウロ出身。幼少の頃からパーカッションを始め、17歳からプロフェッショナルとしての活動を開始。ソニー・ロリンズ、スタン・ゲッツ、アイアート・モレイラ、フローラ・プリム、タニア・マリアなど数々の有名ミュージシャンの前座を務めるなど、国際的なパフォーマーとして活動を行う。一時、バークリー音楽院に在籍。1979年から日本をベースに活動。ブラジルと日本の文化を繋ぐ目的でサンバチーム「クルゼイロ・ド・スウウ」を創設、日本のサンバの礎を築いた。現在も日本のブラジル音楽の父として熱心な活動を続けている。土岐英史、松岡直也、マルシア、スマップ、マルタ、阿川泰子、渡辺真知子など数多くのミュージシャンのレコーディングやライブなどジャンルを問わず幅広く活動、パーカッションやサンバダンスのレッスンも開講している。

ニーナ (Nina) ヴォーカル

2010年、ボサノバの魅力に惹かれ都内のライブハウス、レストラン等でライブ活動を開始。その後、歌謡コーラスグループ、「ロス・インディオス」の9代目女性ヴォーカルとなる。2018年、吉田のプロデュースの下、ブラジル・リオデジャネイロにてレコーディング。ゲストに憧れのジョイスが参加した自身初のボサノバ・アルバム「Banana」を発表。今年、再びリオで巨匠、ホベルト・メネスカルやダニエル・ジョビンなどとレコーディングし、この7月に「**Samba do Champanhe**」としてリリースしたばかりの旬のシンガー。現在ボサノバと歌謡界、両シーンで活躍中。

山田園恵 (Sonoe Yamada) スティールパン (通称パン)

武蔵野音大在学中にパンを始める。名手、原田芳弘主宰の「Panorama Steel Orchestra」に参加、フジ・ロック・フェス等各地で演奏。2015年、本場トリニダード・トバゴのパン世界大会に同バンドでアジア代表としてエントリー、見事9位入賞。また、現地のバンドのメンバーとしてカーニバルへの参加経験がある。NHK-TV、日テレ、TV東京等にも出演。明るいパフォーマンスとテクニックが好評で吉田のユニット、**バンドラム**でも大活躍中。

長澤紀仁 (Norihiro Nagasawa) アコースティック・ギター

東京都生まれ。小学生のときにThe Beatlesを愛聴しギターを始める。大学在学中よりプロ活動を開始。現在、日本のブラジル音楽界を代表するギタープレーヤー。2006年にはリオデジャネイロにおいてDurval Ferreira氏のプロデュースでブラジルデビュー。葉加瀬太郎、鈴木重子、中島啓江、chie、島田歌穂、岩崎宏美、渡辺真知子、大澤蒼志幸などと共演。「音あそび」、「もにじん」など自己のユニットや吉田が主宰する、**バンドラム**でも活躍中。